

## ◎「会員だより」

2月号の「巻頭言（インフラの老朽化と省インフラへの期待）」に「ある日突然すべての機械設備が耐用年数を迎えて使えなくなるような企業はない。景気にかかわらず一定の投資水準を維持し、一斉に老朽化しないようにしているからである。」と書かれていました。私たちも、公共インフラを守っていかなくてはならないと思いました。  
匿名希望（都道府県勤務、51）

毎号「表紙」を飾っている写真にとっても興味が湧きます。これまでも観光で近くを訪れた際に、足を延ばし、その場所へ行ったことも多々あります。位置がわかるようにして頂けると助かります。  
大島 幸雄（市町村勤務、55）

毎号タイムリーな「特集」を楽しみにしています。各地域で抱えている課題やその解決策などが掲載されており、業務の参考とさせてもらっています。一層の充実を期待しています。  
匿名希望（都道府県勤務）

我が意を得たりという思いで、大石会長の「新年のご挨拶」を拝読しました。公務員を取り巻く環境は、厳しい中ですが、官庁技術者としての発想、提案ができるために日々精進していく所存です。  
匿名希望（地方整備局勤務、49）

12、1月号の「パネルディスカッション（新しい時代における公務員技術者の使命）」は、地域住民の要望への対応などについて議論されていて、とても興味深い内容でした。今後もこのようなテーマで行われるとよいと思います。  
匿名希望（市町村勤務、38）

1月号の「特集（公共工事の生産性の向上にむけて）」を読んで、ICTがどんどん現場で利用されており、新しい技術に関する知識を持っておくべきだと思いました。今後も新しい取り組みや技術を紹介していただくと参考になります。  
田中 秀典（市町村勤務、36）

1月号の（事例に学ぶ現場力の向上「道路排水の先は調整未実施」）を読みました。自分も渉外担当でクレームや要望を受けます。用水路に道路排水を流すことなどは利水者の賛意が得られるわけがないので、自分も気をつけなければと改めて思いました。  
匿名希望（都道府県勤務、53）

タイムリーな「特集」も毎号読んでいますが、「基礎から学ぶ道路事業」「土木」ということばの歴史を辞書でたどるなど特集記事以外でも新たな発見があり、楽しく読んでいます。硬軟とりまぜて誌面を作り続けて下さい。  
匿名希望

2月号の「特集（社会資本の戦略的な維持管理）」では、インフラの維持管理について各地域で苦労している事例が掲載されていました。特に市町村の対応が今後重要になってくると感じました。  
匿名希望

2月号の「特集」の「ひと」から「ロボット」の時代へ」を読んで、ロボット技術を取り入れた新しいメンテナンスに向けた取り組みは、技術者不足を支える素晴らしい取組みと感じました。  
匿名希望

2月号の「特集」の「ひと」から「ロボット」の時代へ」で、中部地方整備局が地方公共団体職員を対象に出前講座などを実施したことが書かれていました。こういった地方公共団体職員に向けた支援を各地で実施してもらいたいです。  
匿名希望

2月号の「特集」の「長崎県における道守制度を活用した道路の維持管理」について、持続可能な維持管理方法の一つとして以前から興味を持っていました。水平展開が必要な施策だと思います。  
横山 彰宏（都道府県勤務、56）

海外の公共調達制度などはなかなか知ることができません。「諸外国のインフラ情報」は、他の機関誌にはない情報が豊富にあるので勉強になります。  
匿名希望

2月号の「ひろば」の「命の架け橋「湯の山かもしか大橋」の軌跡」を拝読しました。騒音・振動対策など観光地ならではの工夫について掲載されており、現在橋梁を担当しているので参考になりました。  
匿名希望（市町村勤務、33）

2月号の「ひろば」の「地域建設業の現状と課題」を読みました。発注段階や施工段階における受注者側の意見・要望等が掲載されていて、公共事業発注者として、業界からの意見に傾聴し、改善を進めていく必要性を感じました。  
匿名希望（都道府県勤務、45）

「第660回建設技術講習会（徳島市）」に参加して、大石会長の「インフラが再建する経済・財政」を聞きました。会長の講演を聞ける機会がもっと増えるといいと思います。  
匿名希望

「第660回建設技術講習会（徳島市）」の現場研修で津田インター線整備事業・津田地域活性化整備事業を見学しました。既存インフラを有効に活用した事業であり、今後の様々な課題への対応に大変参考となる事例だと思いました。  
匿名希望

「第661回建設技術講習会（那覇市）」の現場研修で高規格幹線道路 小禄道路整備事業を見学しました。トンネル掘削時に50cm毎に不発弾の磁気探査をしなければならないなど、地域の事情に応じた苦労を知ることができてよかったですと思います。  
匿名希望

## ◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋  
TEL：03-3585-4546/E-mail:kensetsu@zenken.com

